

ドローンの操縦できた！

郡上市の小学生が体験



空撮ドローンを操縦する児童ら＝美濃市曽代、ドローンミュージアム&パークの

り、思い通りに飛ぶと歓声を上げて喜んだ。

口明方小5年の中島糸子さん(10)は「プログラミングでは、駄目なところを直したらどんどん飛ぶようになった。操縦は難しかったけど楽しかった」と振り返った。講座の最後には、自動飛行によるドローンショーの実演もあった。

(今井大輝)

郡上市内の小学生を対象にしたドローンの体験イベントが、美濃市曽代のドローンミュージアム&パークみのであり、3、6年生19人が操縦やプログラミングを体験し、最先端の技術に触れた。

郡上市教育委員会が年間12回ほど実施している「放課後(こども講座)」の一環。子どもたちにドローンへの関心を高め、将来性について考えてもらおうと企画

し、ドローンミュージアムを運営する「ROBOZ(ロボッツ、恵那市)」の社員が講師を務めた。

児童は、社員に教わりながら、順番に小型ドローンや空撮ドローンの操縦を体験。機体を輪に通したり、上空50メートルまで飛ばしたりして楽しんだ。離れた場所へ行って戻ってくる自動飛行のプログラミングにも挑戦。試行錯誤して、真剣な表情で機体の動きを見守